

武岡（^{光星}高）ら吉報待つ

内沢（^{工大一高大}）も指名なるか



伊藤大将



武岡龍世

青森県関係では八学光星高の武岡龍世、伊藤大将両内野手、法大の内沢航大投手（工大一高出）、青森山田高の堀田賢慎投手、青森大の蝦名達夫外野手がプロ志望届を提出し、運命の時を待つ。

武岡は徳島県出身で、八学光星高では1年春から遊撃手のレギュラーとして活躍。2年秋から主将を務めてチームをけん引し、今夏の甲子園では8強入りした。5割5秒台の俊足、本塁打を放った長打力、安定した守備力と、3拍子そろった野手だ。

ある打撃で、チームの勝利に貢献した。内沢は下田中（おいらせ町）出身。195センチの長身から繰り出す140キロ超の直球にスライダーやカーブを織り交せる本格派右腕。高校時代は2年春以降主戦を務め、東京六大学リーグでは16日までに計24試合に登板し、2勝3敗の成績を残した。

蝦名は青森市出身で、青森商高から青森大へ進学。今秋の北東北大学野球リーグ戦では、広角に打てる打力で打率4割超をマークし首位打者、ベストナインに輝いた。

（林泰輔）